



《風》1960年個人蔵

故郷・瀬戸内の自然と暮らしを愛した画家  
桃を食べ、さかなを貰ひ、友人が来る

## 平松 純平 展

2004年 1月4日(日) - 2月15日(日)

開館時間=午前9時 - 午後5時 (入館は、午後4時30分まで)  
休館日=月曜日 [1月12日(月・祝)は開館、翌13日(火)は休館]  
観覧料=大人一般300円/大学・高校生200円  
中学・小学生以下と70歳以上のかたは無料  
[団体(20名以上)は、各50円引]

主催=尾道市立美術館 後援=広島県教育委員会



ジュール・デュプレ《ノルマンディー地方の葺き草の家》1869年  
尾道みなとライオンズクラブ寄贈



ジョルジュ・ルオー《オアシス》1950年頃  
©ADAGP, Paris & JVACS, Tokyo, 2003  
Georges Rouault "L'oasis"

2004年

1月4日(日) - 2月15日(日)

開館時間=午前9時 - 午後5時  
(入館は、午後4時30分まで)

休館日=月曜日

[1月12日(月・祝)は開館、翌13日(火)は休館]

観覧料=大人一般300円/大学・高校生200円  
中学・小学生以下と70歳以上のかたは無料  
[団体(20名以上)は、各50円引]

主催=尾道市立美術館 後援=広島県教育委員会

## 尾道市立美術館 コレクション 選

### — 人のいる風景 —

## 尾道市立美術館

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281



# 尾道市立美術館 コレクション選 — 人のいる風景 —



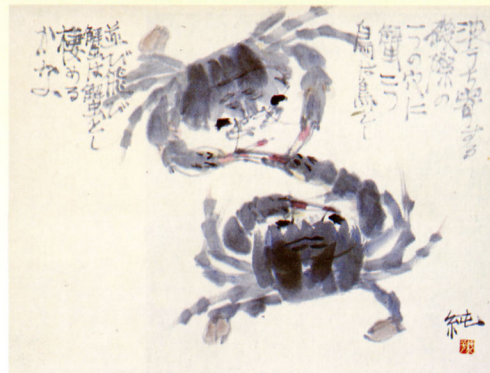
森谷南人子《新冬風景》1930年



小林和作《紅葉と實》

本展は、尾道市立美術館が、二〇〇三年一月にリニューアル・オープンして以来、最初の所蔵品展です。まず、所蔵の名品を玉蘊や瓊州、ルオーや和作、南人子らでたどります。新収蔵されたフランス近代の珠玉の小品は、オープン展の「ノルマンディーの風景」にちなんだ農家や水辺を温かな眼差しでとらえたもので、自然の息吹と人々の暮らしの息遣いを伝えてくれます。

このほか、懐かしい暮らしの風景をつづつたカップドヴィールの写真と、ディック・ブルナーのミッドワイヤ絵本からのシルクスクリーンを展覧し、大人から子どもまで、ゆつたりと本物の芸術を楽しむことのできる、憩いの場をめざします。過去から未来へと続く、世界のさまざまな人々の暮らしをみつめる、あなたのさまざまな暮らしを、この新たな年を温かく安らかなものとしてください。



《もがに》作家旧蔵



《除虫菊》1964年 尾道市立美術館蔵

尾道市に生まれた平松純平（1930—1975）は、広島大学在学中に広島県美術展へ油彩画が入選するなど、早くから画才を発揮しました。尾道市内の中学校で教鞭を執るかたわら、1968年に日本水彩画会展で文部大臣奨励賞を受賞するなど、水彩画やアクリル画に新境地を開き、また、画面に詩を書き入れた南画を描きましたが、45歳で惜しまれつつ他界しました。本展では、尾道の街並や港の風景、蟹や海老や果物を盛りつけた鉢を描いた油彩画・水彩画・南画・スケッチ80点あまりで、平松純平の画業を紹介します。



《ポピー》作家旧蔵

故郷・瀬戸内の自然と暮らしを愛した画家  
桃を食べ、さかなを買ひ、友人が来る

## 平松純平展



平松純平

### ご利用案内

- JR西日本・山陽本線をご利用の場合：「尾道駅」から東行きの市バスで「長江口」下車、ロープウェイで「千光寺公園」へ。  
(市バスの「千光寺公園」直行便は、便数が少ないのでご注意ください)
- お車をご利用の場合：「千光寺ドライブウェイ」経由で「かおり橋駐車場」へ。  
(駐車券をご提示いただけましたら、当日券をお求めのかた1名様にかぎり、100円割引いたします)
- タクシーをご利用の場合：「尾道駅」または「新尾道駅」から1,200円程度です。

尾道市立美術館  
ONOMACHI CITY MUSEUM OF ART

〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281 Fax.0848-20-1682



### 次回展覧会予告

第1回 写真のまち尾道四季展  
2004年2月28日(土)～3月14日(日)